

秋季体育大会が終わり、落ち着いて学習に励む時期にはいりました。1・2年次生は10月末の模試と11月末の中間考査に向かって、3年次生は校内模試や定期考査はもちろんですが、進路達成に向かって、学習に取り組んでいきましょう。勉強だけでなく、部活動や趣味を極めるにもいい季節です。2年次生は研修旅行も控えています。一年で一番落ち着いて何かに集中できるこの時期を大事に過ごしてください。

10・11月の進路関係行事と「総合的な学習の時間」 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆

	1年次：自己理解と社会を知る	2年次：社会と学問の関係を知る	3年次：志望校研究
10/4 (火)	小論文指導① 小論文ガイダンス	「学問と志望学部」③ 小論文を書いてみる	進路講演会
10/11 (火)	小論文指導②	第1回小論文模試(全員)	小論文模試(希望者)
11/1 (火)	小論文指導③		
11/8 (火)	小論文模試(全員)		
11/25 (金)		研修旅行事前集会(11/29～研修旅行)	

CCI(コスモス・カレッジ・インターンシップ)より・・・学ぶ意義を考える

9月30日(金)に1・2年生を対象としたCCI(コスモス・カレッジ・インターンシップ)が開催されました。講義後の感想文は講師の先生方にお送りしましたが、その一部を抜粋して掲載します。CCIを通じて生徒のみなさんが考え学んだことや、それぞれの学問系統の講座内容について、是非、一読してみてください。

文学(普通科1年)

…先生がおっしゃっていた「著者の意図や先入観を捨てて文字を読む」「小説中の世界を創造する」ということがとても印象に残りました。…私は今まで「文学」というと小説を読んでいるというイメージしかありませんでしたが今日の授業を受けて、こんなにも幅広い学問だということを初めて知り驚きました。1つの作品から心理や土木など広域にわたって調べあげるのは楽しそうだと改めて思えました。

法学(1年普通科)

…「自由」は、自分に選択権が与えられて好きなように生きられる反面、「尊厳」との兼ね合いが難しいと思った。講義を聴いている途中から、そもそも「尊厳」とは誰がどのように決めているのかと感じるまでになった。また、様々な人の意見を聞いて自分の意見が変わったり、先生のツッコミを聞いて自分の考えが合っているのかと考えさせられたりした1時間だった。

語学(普通科1年)

…一番驚いたのは、英語は全てを聞き取ろうとしなくても良いということです。リスニングをする時に全ての音を漏れのないように聞き取ろうとしていました。しかし内容語だけ聞こえればそれで十分に理解ができるようになると知ったので、これからはそれを意識してリスニングに取り組みたいです。…子音の対照表をはじめて見ましたが発音する際にどこを使っているのか、意識してみるととても面白かったです。音を聞いたり発したりしてから脳が理解するまでの流れを詳しく教えてくださったので理解が深まりました。

☆裏面に続きます。

経済・経営学 (2年普通科)

経済・経営学という学問に対して、お金や金儲けをしたい人の学問というイメージがあったが、今日のお話を聞いて変わった。身近なまちづくりという問題に対しても適応できるものだと感じた。…今回のお話は交通機関を中心とした話だったが、人の流れというものは移動手段が大きく関わっているということがわかった。…次に私が心に残った言葉は「始めるのは大変だが継続するのはもっと大変」という言葉だった。…物事に変化をもたらす時に手段や着眼点は様々あるが、それに対してどう対応するのかということを考えるきっかけになる所に経済・経営学の学問があるということがわかった。

心理学 (2年普通科)

今日の講座を通じて心理学は多領域にわたって存在しているということを知りました。…特に面白いと思ったのは「ないはずの音が聞こえる」という体験です。とても不思議な感覚で、でもトリックを使っているわけではなく、自分がそう思い込んでしまっているところに興味を持ち、もっと勉強してみたいと思いました。これから生きていく上で、言葉の「前後関係」「知識」「場面」「言葉以外のメッセージ」「相手への理解」を意識し、信頼関係をもつことで、自分のコミュニケーション力を身につけたいです。



文化学・歴史学 (1年普通科)

…美術品を見るだけで人物が誰か、制作年代はいつか、など分かるなんて素敵でとても楽しいことだと思いました。人々が信仰した神・人々の意図・彫刻にこめられた想いを感じ取れることがすごく嬉しかったです。…自分の興味ある分野を見つけられて良かったです。どこの大学に進みたいか、どの学部に行きたいかはまだまったく決まっていますが、歴史に関わる学部、自分が通い学んで幸福感を得られるようなところを受験したいと思いました。

国際教養学 (2年普通科)

特に印象深かったのは社会学に決まった答えがないということでした。1つのテーマについて非常に様々な視点で考えることでそのテーマについて幅が出てさらに深く考えることができるという感覚を感じることができたのでいい経験となりました。…紛争について考えると聞いて、「紛争中」のことしか考えていなかったけど、「紛争後」について考えることがとても大切だし、大変なことだということに気づかされました。その中で私は紛争後の心のケアについて興味を持ちました。これは社会学ではないかも知れないけど、国際社会学×心理学についてもっと深く学んでみたいなと思いました。

医学 (1年理数科)

人間の体の中はこんなにも繊細かつ大胆な部分があるのだなぁと驚かされました。…一つ目は人間の臓器の中で最も血液分配が多いのは腎臓であるということです。…腎臓は古くて必要なくなった血液を尿に変えるだけでなく、体液量を調整したり電解質の調整をしたりホルモンの分泌をしたりと、たくさんの機能があると知り、とても驚きました。二つ目は腎臓での糖再吸収機構についてです。1回目は雑に、2回目は精密に糖を再吸収していて、人間の体の中にはこんなに不思議で面白い構造があるのだなと思いました。

☆看護学、医療技術学、薬学・化学、物理学・天文学、地球環境学、機械工学、電気通信工学、土木建築工学、農学・生物学については次号で掲載します。